

秋の陣 9月 その5

明日の16:00に、上野精養軒で、在京同窓会が開催されます。今年度は現役の大学生に広く呼びかけを行って、例年よりも多くの大学生が参加する見込みだと伺いました。

昨年度参加して驚いたのは、その人脈の広さと深さです。経済界はもとより、司法界や政界、さらには芸能界など、様々な業種のトップの方々が数多く磐城高校を母校として誇りにしていただいていることを肌で感じ、身震いするほどの感動をいただきました。

さらには、毎年回を重ねるごとにその取り組みを充実させようとする情熱がひしひしと伝わってきます。そのエネルギーを新しい世代に伝えようとする使命感も感じられます。

在京といいましても、広く関東圏の神奈川、千葉、埼玉等を含め、東京の23区だけではなく多摩地方や田園都市部や町田などの住宅地として発展した地域などを広く含みますから、多くの磐城高校生がまずは進学先として考えたのは東京圏であったことを考えますと、恐らく、8割を超える卒業生が大学時代や就職の新卒時代を含めた青春時代を送ったのではないかと推察します。

そこで、団塊の世代から始まって、裸一貫自分の力と人とのつながりの力で、まさに開拓者として生きてこられた場所において、もう一度いわきの力を結集することができればこの上ないことであると考えます。

特に、現在大学3年生の諸君においては、今後の就職先をうかがう時期において、とても大切な情報を得られる場所となるはずです。

今年卒業した学年の皆さんには、同窓会からの確証を伝達するときに、この回に必ず出てほしいと直接伝えました。また、口から口に伝播していく中で、現在大学生である卒業生の皆さんが、来ていただければこの上ない喜びであると考えます。

私の同級生たちも、今年が還暦ですので、ぜひ集まって、高校30回卒の結束を見せていただければと心より願って居るところです。また、吹奏楽部が、7年連続16度目の全国大会出場を審査員全員が最上級の評価という全体トップの成績で決めたところですので、ぜひとも温かい支援をお願いするところでもあります。

来る10月20日名古屋国際会議場で、悲願の金賞を手に入れます。

明日は、私も駆けつけますので、どうかよろしく願いいたします。

